

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	北脇 悦子
(※)第2期実施計画の事業名	環境基本計画推進事業	財務会計上の事業名	環境基本計画推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3041 1	財務会計上の短縮番号	3535
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目1地球環境施策の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	平成22年度に策定した「池田市新環境基本計画」を市民、事業者、行政等の協働により推進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法 (どのように)	・各種主体との協働事業の実施、しくみ作り ・計画の進捗にかかる調査(環境審議会) ・市地球温暖化防止実行計画の策定 ・計画の進捗状況の調査及び推進方法の検討 など
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	環境基本法第36条、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条

2 事業費等

区分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)		29年度 (予算)	H28/H27
事業費(千円)		3,048	1,062		1,074	34.8%
主な内訳	消耗品費		15		25	140.0%
	印刷製本費		308		309	100.0%
	調査委託料		2,700		713	26.4%
人件費(人・千円)	0.00 0	0.73 5,548	0.94 6,842	0.30 2,044	128.8%	
内訳	正職員	0 0.73 5,548	0.92 6,808	0.26 1,976	126.0%	
	再任用短時間勤務職員	0 0	0 0	0 0	-	
	任期付職員(フルタイム)	0 0	0 0	0 0	-	
	任期付職員(短時間勤務)	0 0	0 0	0 0	-	
	非常勤職員	0 0	0 0	0 0	-	
臨時的任用職員	0 0	0 0.02 34	0.04 68	68	-	
支出合計 A	0	8,596	7,904		3,118	91.9%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他( )					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	0	8,596	7,904		3,118	91.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%		100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	新環境基本計画の進捗状況等に関する調査事業は既に外部業者に委託し、効率化を図っている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	現在の計画目標年度が平成32年度となっていることから、次期計画の策定の際には外部業者への委託を予定している。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	専門知識を必要とする新環境基本計画の改定業務等については、一部をアウトソーシングすることで、計画の質の向上と事務の簡略化を図ることができると考えられる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予定)	目標値 (H30)
指 標 値	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市内の温室効果ガス排出量の削減	%	27.0	算定中	算定中	30.0	30.0
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市内のごみ排出量の削減	%	7.8	8.0	8.4	10.0	20.0
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	平成32年度を目標に、温室効果ガス排出量平成11年度比30%削減、ごみ排出量平成20年度比20%削減に向け、それぞれ減少傾向にあるため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となったか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	温室効果ガス排出量とごみ排出量は、ともに減少傾向にあり、市民一人ひとりの意識の向上を図ることで、より効率的な施策の推進が可能であるため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成27年度に現計画の中間見直し業務を行った。	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	新環境基本計画の中間見直しの結果を踏まえ、目標達成に向けて施策を推進していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	目標達成に向けた施策の促進のためには、他課との連携が不可欠だが、目的や必要性について十分に理解や共有がされていない。
	対 策	連携の必要がある各課に対し、施策への理解・共有を促す。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	本事業は「環境にやさしいまちづくり」の根幹をなすものである。平成27年度に実施した中間見直しの結果を踏まえ、市民・事業者との協働体制の更なる確立を図るとともに、継続的な施策の実施が必要である。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	北脇 悦子
(※)第2期実施計画の事業名	低炭素社会推進事業	財務会計上の事業名	低炭素社会推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3041 2	財務会計上の短縮番号	3569
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目1地球環境施策の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	温室効果ガスの排出を抑制し、環境にやさしい社会を形成する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法 (どのように)	環境にやさしい設備等への補助金交付や環境教育・イベントの実施等、低炭素社会の実現に向けた啓発活動を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその他事項	地球温暖化対策の推進に関する法律第4条、環境教育等促進法第6条、住宅用太陽光発電システム設置などの各補助金交付要綱

2 事業費等

区分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27	
事業費(千円)	12,819	19,246	24,802	17,898	128.9%	
主な内訳	委託料	2,484	2,484	4,989	0	200.8%
	太陽光発電設備導入補助金	9,469	8,143	9,024	10,500	110.8%
	燃料電池システム設置費補助金	-	7,497	9,700	6,000	129.4%
人件費(人・千円)	0.43 3,354	0.31 2,356	0.26 1,924	0.31 2,356	83.9%	
内訳	正職員	0.43 3,354	0.31 2,356	0.26 1,924	0.31 2,356	83.9%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	16,173	21,602	26,726	20,254	123.7%	
財源	国・府支出金	2,880				-
	地方債					-
	その他( )	9,939	19,246	24,802	17,898	128.9%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	3,354	2,356	1,924	2,356	81.7%	
一般財源比率 C÷A	20.7%	10.9%	7.2%	11.6%	66.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	イベント実施業務、補助申請受付業務
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	イベント実施や補助申請受付業務などについてはアウトソーシングが可能であるが、事務量を考慮した上で費用対効果を検討する必要がある。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	住宅用太陽光発電システム設置費補助件数	件	86	76	83	95	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	非住宅用太陽光発電システム設置費補助件数	件	4	2	1	5	-
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	太陽光発電の設置件数(累積)	件	1,200	1,300	算定中	算定中	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	燃料電池システムの設置費補助件数	件	-	75	97	120	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		平成32年度を目標年度と定め、市内の太陽光発電の累積設置件数4,000件を目指している。設置件数は順調に伸びている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		太陽光発電設備件数は年々増加しており、目的達成のための有効な内容となっている。また、27年度より燃料電池システム設置に対する補助などを実施しているところ。ただし、低炭素社会を推進するための技術は日々進化しており、より効率的に目的を達成するための手段が多様化しているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	燃料電池システム設置費補助制度の追加	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	太陽光発電:1Kwあたり25,000円 → 20,000円に 燃料電池:補助対象経費の10分の1で上限10万円 → 1台あたり50,000円	
現在抱える課題とその対策	課題	低炭素社会を推進するため、太陽光発電以外の技術についても普及促進を図る必要があること。
	対策	平成27年度から燃料電池システム補助制度を新設し、低炭素社会の推進の更なる後押しを図るとともに、新技術についても情報収集を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	引き続き、太陽光発電等の設備導入補助、市民共同発電所の設置、環境イベントの実施や環境学習の普及促進を図ることで、低炭素社会の推進・意識向上を図っていく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	和田 富士夫
(※)第2期実施計画の事業名	街路灯LED化事業		財務会計上の事業名	街路灯LED化事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3041	3	財務会計上の短縮番号	4785
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目1地球環境施策の推進		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	二酸化炭素排出量の削減及び電気代・修繕料の削減
事業の対象 (誰を、何を)	市内の街路灯
事業の手段・方法 (どのように)	市内の街路灯をLED灯に交換する
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		13,089		14,165		13,724		21,272		96.9%
主な内訳	機器借上料	2,829		4,337		5,905		21,272		136.2%
	請負費	10,260		9,828						0.0%
	委託料					7,819				-
人件費(人・千円)		0.27	1,496	0.25	1,310	0.29	1,291	0.15	1,140	116.0%
内訳	正職員	0.17	1,326	0.15	1,140	0.14	1,036	0.15	1,140	93.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.10	170	0.10	170	0.15	255		0	150.0%
支出合計 A		14,585		15,475		15,015		22,412		97.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他(二酸化炭素排出抑制補助)					7,819				-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	14,585		15,475		7,196		22,412		46.5%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		47.9%		100.0%		47.9%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	LED灯の借上げ及び設置工事について、業者に発注している
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	LED化した街路灯	基	1,000	740	2,041	-	-
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	総LED街路灯数	基	3,090	3,830	5,871	5871	6000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				市内街路灯をLED灯に交換し、二酸化炭素排出量及び電気代・修繕料を削減できたため				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				市内街路灯を順次LED灯に交換することで、二酸化炭素排出量の削減と電気代・修繕料の削減につながっているため				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市内街路灯を順次LED灯に交換していく	
現在抱える課題と対策	課 題	電気代の値上りにより、電気代が削減されない
	対 策	消費電力の大きな街路灯をLED灯へ交換することにより、電気代の削減を図る
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	環境にやさしい街路灯のLED化は今後も事業推進が必要である。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	北脇 悦子
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	環境学習推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	3538
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目1地球環境施策の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	「池田市新環境基本計画」及び「池田市環境学習基本方針」に基づき、地域資源や環境学習事例の収集・整理を行い、教員を支援する事業などを展開する。
事業の対象 (誰を、何を)	教員、小・中学生
事業の手段・方法 (どのように)	・学校、教員向けの環境学習事例冊子の作成及び配布 ・教員による「池田市環境学習研究会」の運営支援
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 28 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	環境教育等促進法第6条

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)						3,500		6,000		-
主な内訳	環境学習推進委託料					3,500		6,000		-
										-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.37	2,738	0.29	2,204	-
内訳	正職員		0		0	0.37	2,738	0.29	2,204	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		0		0		6,238		8,204		-
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0		0		6,238		8,204		-
一般財源比率 C÷A						100.0%		100.0%		-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	本事業については既にNPO団体に委託し、効率化を図っている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	出前授業回数	回			8	15	25
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	環境学習事例数	件			10	13	18
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		環境学習事例の収集・整理・分析により、順調にノウハウが蓄積されており、教員へのサポート体制の充実が図られているため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	事業の効果に即効性はないものの、将来の「環境にやさしいまちづくり」に向け、不可欠な事業である。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	池田市環境学習基本方針に基づき、引き続き、行政・事業者・地域団体・市民とのネットワークで地域資源を活用した環境学習のプログラム開発や実践を支援していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	池田市環境基本条例や新環境基本計画、環境学習基本方針に基づく環境学習支援拠点の整備。
	対 策	引き続き拠点の整備に向け、検討を重ねていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	本事業は将来の「環境にやさしいまちづくり」に向け、次世代を担う子どもたちに環境教育を普及させるべく、「池田市環境学習基本方針」などに基づき行う事業であり、すぐに効果が見えるものではないが、継続的な施策の実施が必要である。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	北脇 悦子
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ減量化推進事業	財務会計上の事業名	ごみ減量化推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042 1	財務会計上の短縮番号	3570
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	ごみの減量化と資源化を推進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、市民団体
事業の手段・方法 (どのように)	集団回収団体や回収事業者に対する補助、ごみの減量化と資源化の啓発の推進
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 55 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市集団回収奨励金交付要綱

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		5,224		6,494		4,702		5,959		72.4%
主な内訳	消耗品費	54		70		71		79		101.4%
	委託料	100		1,580		14		120		0.9%
	補助金	5,296		4,844		4,617		5,760		95.3%
人件費(人・千円)		0.28	1,269	0.43	1,498	0.28	1,217	0.48	1,878	65.1%
内訳	正職員	0.13	1,014	0.13	988	0.13	962	0.18	1,368	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.15	255	0.30	510	0.15	255	0.30	510	50.0%
支出合計 A		6,493		7,992		5,919		7,837		74.1%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )	5,224		6,494		4,702		5,959		72.4%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,269		1,498		1,217		1,878		81.2%
一般財源比率 C÷A		19.5%		18.7%		20.6%		24.0%		109.7%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	クリーンセンターにおいて処理が困難な不法投棄物などを委託により処分。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業については、主に市民及び市民団体による自主的な活動への補助や啓発を目的としているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)	
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	集団回収量	トン	1,714	1,612	1,511	1600	1800
	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	資源化率	%	12.0	11.6	11.3	12.0	12.5
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	集団回収実施団体	団体	107	105	108	108	110
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		集団回収量は減少しているものの、団体数は横ばいとなっており、制度の趣旨に基づき各団体で回収量の確保に向け活動しているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	集団回収量は減少しているものの、リサイクル率上昇の有効な手段の一つとなっており、現制度の継続が効率的であると判断できるため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	集団回収業者への助成金について、1円/1kgから0.5円/1kgに減額するもの。	
現在抱える課題と対策	課 題	集団回収量の減少。
	対 策	ごみ減量・資源化のPRを促進し、集団回収団体数及び回収量の確保を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	集団回収制度は本市のリサイクル量の約半数を占めており、リサイクル率の向上に大きく寄与している。今後も継続的に集団回収の促進を呼びかけていく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	北脇 悦子
(※)第2期実施計画の事業名	指定袋制実施事業	財務会計上の事業名	指定袋制実施事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042 2	財務会計上の短縮番号	3695
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	ごみの減量・資源化を推進し、環境負荷の少ない循環型社会づくりを進める。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	燃えるごみ、燃えないごみは指定袋で、粗大ごみは処理券で排出することとし、有料で販売。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 第7条の2

2 事業費等

区分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27	
事業費(千円)	61,771	58,639	65,459	70,190	111.6%	
主な内訳	消耗品費	37,455	32,993	39,171	40,964	118.7%
	配布管理委託料	11,892	12,559	12,831	14,289	102.2%
	指定袋取扱委託料	11,484	12,018	12,319	12,725	102.5%
人件費(人・千円)	1.29 5,792	1.79 6,524	1.28 5,482	1.98 6,788	71.5%	
内訳	正職員	0.59 4,602	0.59 4,484	0.58 4,292	0.58 4,408	98.3%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0.70 1,190	1.20 2,040	0.70 1,190	1.40 2,380	58.3%	
支出合計 A	67,563	65,163	70,941	76,978	108.9%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他( )	61,771	58,639	65,459	70,190	111.6%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	5,792	6,524	5,482	6,788	84.0%	
一般財源比率 C÷A	8.6%	10.0%	7.7%	8.8%	77.2%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	製造、配布管理、販売を委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	収納業務
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	指定販売店からの指定袋販売手数料の収納事務。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予定)	目標値 (H30)	
指標値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	池田市内のごみ排出量	トン	32,197	32,129	31,998	31,500	29,800
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		市内のごみ排出量が減少傾向にあるため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	平成18年度の制度開始以降大幅にごみ排出量が減少し、平成24年度の制度改定以降も減少傾向にあるため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 24 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	燃えるごみ用指定袋の無料配布制度を縮小。乳幼児世帯・高齢者世帯・障がい者世帯に限定。
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	一定の成果を得られており、平成29年度も同内容を継続して実施する。
現在抱える課題とその対策	課題 指定袋等を使用しない不適正排出 対策 ごみ収集日表や市広報誌、ホームページなどで正しいごみ分別の啓発を行っていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	平成18年度の指定袋制実施、24年度の全量有料化により、ごみ排出量の削減効果が見られるが、更なるごみの減量およびリサイクル率の向上を目指すため、引き続きごみ分別の周知など、3Rの啓発を推進する。

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	北脇 悦子
(※)第2期実施計画の事業名	リサイクル推進事業	財務会計上の事業名	リサイクル推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042 4	財務会計上の短縮番号	3585
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	不法投棄された特定家電4品目の適正処理 市民に適正排出を促し、リサイクルの推進を図る
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	不法投棄された特定家電4品目の処理の委託 容器包装リサイクル対象品目の再商品化の委託
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	家電リサイクル法、容器包装リサイクル法

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		3,349		5,202		5,318		9,120		102.2%
主な内訳	消耗品費	0		0		0		400		-
	手数料	50		56		50		200		89.3%
	処分委託料	3,299		5,145		5,268		8,500		102.4%
人件費(人・千円)		0.16	1,248	0.16	1,216	0.08	592	0.17	1,292	50.0%
内訳	正職員	0.16	1,248	0.16	1,216	0.08	592	0.17	1,292	50.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		4,597		6,418		5,910		10,412		92.1%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )	3,349		5,202		5,318		9,120		102.2%
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	1,248		1,216		592		1,292		48.7%	
一般財源比率 C÷A		27.1%		18.9%		10.0%		12.4%		52.9%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 専門業務 )
上記の内容	トレイ類の異物除去業務の委託については、作業の効率化及び保管場所負担の低減に効果が見られる。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	不法投棄防止の啓発や委託業者との契約が主な業務であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値 (H30)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特定家電4品目の不法投棄台数	台	26	18	12	15	15
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	資源化率	%	12.0	11.6	11.3	12.0	12.5
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				特定家電4品目の不法投棄台数が減少しているため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			特定家電4品目の不法投棄台数が減少しており、不法投棄防止啓発の成果が見られるため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	家電リサイクル推進事業に容器包装リサイクル法関係を組み込んでリサイクル推進事業とした。	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	適正排出及び再資源化の推進のため、小型家電類のボックス回収を始めるとともに、水銀含有廃棄物(乾電池、蛍光灯など)の拠点回収を実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	資源化率の更なる向上
	対 策	適正排出と再資源化の啓発を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	家電リサイクル法及び容器包装リサイクル法の施行から長期間経過し、市民の間にもリサイクルの意識は定着している。 今後もリサイクル率の向上のため、分別の徹底の啓発をはじめ各種リサイクル施策を実施していく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	北脇 悦子
(※)第2期実施計画の事業名	レジ袋削減等推進事業	財務会計上の事業名	レジ袋削減等推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042 5	財務会計上の短縮番号	3579
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	レジ袋の排出抑制をはじめとする3Rの推進ならびに、ごみの減量化をめざす。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法 (どのように)	平成18年度に設立した「池田市レジ袋削減等3R推進協議会」において、市民団体、事業者団体との協働によるレジ袋削減事業を展開する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市レジ袋削減等3R推進協議会補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		100		100		100		100		100.0%
主な内訳	補助金	100		100		100		100		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.17	1,326	0.17	1,292	0.07	518	0.07	532	41.2%
内訳	正職員	0.17	1,326	0.17	1,292	0.07	518	0.07	532	41.2%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		1,426		1,392		618		632		44.4%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )							5		-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,426		1,392		618		627		44.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		99.2%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市内事業所や北摂市町村などとの連携が必要なため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	各種イベントによる啓発活動	回	3	3	3	4	4
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	小学校への出前授業	回	8	9	9	9	10
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		各イベントでPR活動を行うとともに、小学校の出前授業にも参加した。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	協議会には商店主や婦人会などが加盟しており、多種多様な意見をくみ取ることができている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	小学校への出前授業の実施。	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	一定の成果を得られており、平成29年度も同内容を継続して実施する。	
現在抱える課題とその対策	課 題	レジ袋削減に向けて、事業者・市民に対する広域的な働きかけ。
	対 策	北摂都市間で連携を取り、多都市展開している事業者への広域的な働きかけや共通キャンペーンを実施していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	レジ袋削減をはじめとするごみの発生抑制を推進していくため、市民団体や事業者、学校と連携し、普及啓発を継続的に進めていく。	



事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	北脇 悦子
(※)第2期実施計画の事業名	まち角図書館補助事業	財務会計上の事業名	まち角図書館補助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042 6	財務会計上の短縮番号	800
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内11小学校区に無人・無施錠の本棚を設置し、24時間無料で貸し出す。
事業の対象 (誰を、何を)	池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会
事業の手段・方法 (どのように)	蔵書は市民からの寄贈、本の整理などは市民団体のボランティアで実施。 池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会への補助金の交付。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 元 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		150		150		150		100		100.0%
主な内訳	補助金	150		150		150		100		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.08	624	0.08	608	0.08	592	0.08	608	100.0%
内訳	正職員	0.08	624	0.08	608	0.08	592	0.08	608	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		774		758		742		708		97.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	774		758		742		708		97.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	管理運営はまち角に図書館をつくる運動実行委員会がボランティアで行っているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	古本回収量	冊	8,438	6,929	8,012	8,000	8,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				広く市民に定着しており、古本回収量も安定している。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			市民の善意により低コストで運営できており、本のリサイクルに大きな役割を果たしている。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	小学校への出前授業の実施。	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	毎月の古本回収および施設の定期的な修繕を行っていく。	
現在抱える課題と対策	課 題	施設の老朽化及び人員の不足。
	対 策	引き続き施設の計画的な修繕に努めるとともに、実行委員会が主体となり、人員補強に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後もまち角図書館実行委員会と連携し普及啓発を図るとともに、老朽化した施設の修繕計画を立て、計画的な修繕を実施していく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 業務センター		担当課長名	西田 忠由
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ収集事業		財務会計上の事業名	ごみ収集事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	8	財務会計上の短縮番号	3665
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	多様化するごみの組成に対応し、収集作業の効率化と市民サービスの向上を図るとともに、収集車両の適正管理に努める。
事業の対象 (誰を、何を)	生活系一般廃棄物
事業の手段・方法 (どのように)	分別収集と指定日収集
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条、第6条

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27				
事業費(千円)		72,759	71,975	72,001	88,489	100.0%				
主な内訳	燃料費	7,405	5,652	5,101	6,100	90.3%				
	修繕料	7,559	8,625	9,281	8,020	107.6%				
	ごみ収集業務委託料	56,395	56,169	55,877	72,428	99.5%				
人件費(人・千円)		61.00	318,300	53.10	279,460	52.35	265,980	50.35	261,250	98.6%
内訳	正職員	33.00	257,400	31.10	236,360	29.90	221,260	28.90	219,640	96.1%
	再任用短時間勤務職員	7.00	25,200	3.00	10,800	3.45	12,420	2.45	9,310	115.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	21.00	35,700	19.00	32,300	19.00	32,300	19.00	32,300	100.0%
支出合計 A		391,059	351,435	337,981	349,739	96.2%				
財源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他( )	3,575	3,916	4,279	4,100	109.3%				
	うち受益者負担 B	3,575	3,916	4,279	4,100	109.3%				
	一般財源 C	387,484	347,519	333,702	345,639	96.0%				
一般財源比率 C÷A		99.1%	98.9%	98.7%	98.8%	99.8%				
受益者負担率 B÷A		0.9%	1.1%	1.3%	1.2%	113.6%				
受益者負担の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 18年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	指定ごみ袋制度									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	粗大ごみ・紙類ごみ及び一部地域の可燃ごみの収集を業者委託
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	可燃ごみ、資源ごみの収集(他は委託済み)
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	人件費の差額相当分の削減
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ごみ収集量	ℓ	19,051	18,969	18,818	18,500	18,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				ごみ分別収集の徹底による減量化ならびに収集作業の効率化が図られている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	24年度から「粗大ごみ・燃えないごみ」及び「紙類ごみ」、26年度から「可燃ごみ(空き缶・空きびん)」の一部地域の収集を委託しているが、さらなる委託可能な部分があるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	24年度から「粗大ごみ・燃えないごみ」及び「紙類ごみ」、26・28年度に「可燃ごみ(空き缶・空きびん)」の一部地域の収集を委託している	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成29年10月より、1区域の可燃ごみ(空き缶・空きびん)の収集業務を委託する。	
現在抱える課題と対策	課 題	最終委託率の検討。
	対 策	災害時等の緊急事務を近隣市町と連携した委託率(概ね5割)とする。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	危機管理体制を確保しながら委託化(概ね5割)を進め、効率的な事業を目指す。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 業務センター		担当課長名	西田 忠由
(※)第2期実施計画の事業名	し尿収集事業		財務会計上の事業名	し尿収集事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	9	財務会計上の短縮番号	3710
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	し尿収集の効率化を図るとともに、収集車両の適正管理に努める
事業の対象 (誰を、何を)	下水道未接続の便槽・浄化槽
事業の手段・方法 (どのように)	し尿の定期収集と臨時収集及び浄化槽の清掃と保守点検の実施
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条、第6条

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		945		712		1,045		1,000		146.8%
主な内訳	燃料費	403		263		191		303		72.6%
	修繕料	329		378		649		460		171.7%
人件費(人・千円)		2.20	17,160	3.40	17,840	3.25	16,260	3.05	15,390	95.6%
内訳	正職員	2.20	17,160	1.40	10,640	1.20	8,880	1.00	7,600	85.7%
	再任用短時間勤務職員		0	2.00	7,200	2.05	7,380	2.05	7,790	102.5%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		18,105		18,552		17,305		16,390		93.3%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )	945		712		1,045		1,000		146.8%
	うち受益者負担 B	945		712		1,045		1,000		146.8%
	一般財源 C	17,160		17,840		16,260		15,390		91.1%
一般財源比率 C÷A		94.8%		96.2%		94.0%		93.9%		97.7%
受益者負担率 B÷A		5.2%		3.8%		6.0%		6.1%		157.3%
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	昭和45年頃まで許可制により収集していたが、許可区域を全面撤回し、損失補填して全市直営収集を実施した経緯があるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	定時・臨時・公共収集	件	329	345	391	390	390
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	浄化槽清掃	件	60	58	36	35	35
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		し尿収集の効率化、安全作業の推進に努めた。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	昭和45年頃まで許可制により収集していたが、許可区域を全面撤回し、損失補填して全市直営収集を実施した経緯があるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	下水道の接続状況を把握しながら事業を実施していく。
現在抱える課題と対策	課 題 なし。 対 策 なし。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	下水道普及率は100%となっているものの、未接続や臨時の汲み取りなど継続して事業を実施する必要がある。

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ処理事業		財務会計上の事業名	ごみ処理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	10	財務会計上の短縮番号	3675
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	環境基準等を遵守した上で、廃棄物を適正に処理する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民・市内事業者から排出された廃棄物
事業の手段・方法 (どのように)	再資源化の徹底とともに一般廃棄物の適正な中間処理(焼却処理)を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(明治 33 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		142,736		141,484		130,274		144,386		92.1%
主な内訳	消耗品費	58,115		56,910		53,441		56,076		93.9%
	燃料費	4,007		5,146		3,365		4,900		65.4%
	光熱水費	66,419		66,910		60,767		70,281		90.8%
人件費(人・千円)		28.40	184,320	28.10	177,860	27.50	169,490	26.60	173,350	97.9%
内訳	正職員	20.90	163,020	20.60	156,560	20.30	150,220	20.40	155,040	98.5%
	再任用短時間勤務職員	4.50	16,200	4.50	16,200	3.70	13,320	3.70	14,060	82.2%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	3.00	5,100	3.00	5,100	3.50	5,950	2.50	4,250	116.7%
支出合計 A		327,056		319,344		299,764		317,736		93.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )	109,343		111,561		115,564		102,167		103.6%
	うち受益者負担 B	109,343		111,561		115,564		102,167		103.6%
	一般財源 C	217,713		207,783		184,200		215,569		88.7%
一般財源比率 C÷A		66.6%		65.1%		61.4%		67.8%		94.4%
受益者負担率 B÷A		33.4%		34.9%		38.6%		32.2%		110.4%
受益者負担の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 24年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		指定袋の無料配布の廃止及び手数料の見直し、持ち込みごみ処理手数料の見直し								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	民間委託により、コスト削減及び事務簡略化を図った。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	焼却施設の運転管理業務等の包括委託または一部委託の導入
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	包括委託または委託による人件費とのコストメリットが期待できる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	廃棄物処理量	t	30,483	30,517	30,488	28,280	27,723
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				廃棄物の適正処理が確実に行われたため。				
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			一般廃棄物処理計画に基づき、排出抑制の徹底及び資源物の再利用化促進により、減少させることが可能。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)		<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		
現在抱える課題とその対策	課 題	焼却施設の運転管理業務等のあり方
	対 策	基幹的設備改良事業の実施及び今後の人員計画とあわせ、今後の焼却施設の運転管理業務等について、包括的な委託や一部委託等その手法を検討。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由		基幹的設備改良事業の実施とあわせ、今後の焼却施設の運転管理業務等について、包括的な委託や一部委託等の導入を検討し、効率性の高い事業実施に努めるとともに、排出抑制の徹底等を通じ、廃棄物量そのものの削減に努め、最終処分量の削減に資するものとする。

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ処理事業(最終処分)		財務会計上の事業名	ごみ処理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	11	財務会計上の短縮番号	3675
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	再資源化を促進し、循環型社会の形成に寄与するとともに、資源化できないものについては適正処理を行う。
事業の対象(誰を、何を)	市民・市内事業者から排出された廃棄物
事業の手段・方法(どのように)	資源物の選別・処理、粗大ごみ・不燃物の処理及び一般廃棄物の最終処分を、業務委託により実施。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(明治 33 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		26 年度(決算)		27 年度(決算)		28 年度(決算)		29 年度(予算)		H28/H27
事業費(千円)		115,743		124,139		123,677		132,127		99.6%
主な内訳	委託料	115,743		124,139		123,677		132,127		99.6%
										-
人件費(人・千円)		0.50	3,900	0.50	3,800	0.70	4,420	0.80	5,320	140.0%
内訳	正職員	0.50	3,900	0.50	3,800	0.50	3,700	0.60	4,560	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.20	720	0.20	760	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		119,643		127,939		128,097		137,447		100.1%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	119,643		127,939		128,097		137,447		100.1%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	民間委託により、コスト削減及び事務簡略化を図った。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値(H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	最終処分量	t	4,761	4,733	4,579	4,600	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				廃棄物の適正処理が確実に行われたため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)				最終処分量については、漸減傾向が見られるが、一般廃棄物処理計画に基づき、排出抑制の徹底及び資源物の再利用化促進により、今後も減少させることが可能。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き、廃棄物の適正処理を確実に実施するとともに、今年度中に競争入札による業者選定を行い、透明性・公平性を担保する。また中・長期的に業務委託のあり方について見直しを行う。	
現在抱える課題と対策	課 題	業務委託のあり方
	対 策	資源化率の向上及び経費の削減等を目的とした包括的な見直しを行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	事業実施の方法について、平成29年度中に競争入札による業者選定を行うこととし、透明性・公平性を担保することができた。30年度以降には、業務委託のあり方を見直し、資源化率の向上と経費削減に努めるとともに、排出抑制の徹底等を通じ、廃棄物量そのものの削減に努め、最終処分量の削減に資するものとする。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰	
(※)第2期実施計画の事業名	クリーンセンター管理運営事業		財務会計上の事業名	クリーンセンター管理事業 クリーンセンター運営事業	
(※)第2期実施計画の 分類番号/事業番号	3042	12,13	財務会計上の短縮番号	3680,3685	
総合計画の体系	章	第3章 環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節 環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2 循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	廃棄物の継続的かつ適正な処理
事業の対象 (誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法 (どのように)	施設の保守点検等を適切に行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 58 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)		29年度 (予算)	H28/H27
事業費(千円)	93,179	83,775	59,183		61,508	70.6%
主な内訳	設備保守点検委託料	87,906	79,062		53,829	68.1%
	燃料費	513	384		403	104.9%
	光熱水費	1,698	1,555		1,547	99.5%
人件費(人・千円)	3.30 15,440	3.00 14,100	3.70 14,650	3.90 16,610	123.3%	
内訳	正職員	1.30 10,140	1.30 9,880	1.10 8,140	1.30 9,880	84.6%
	再任用短時間勤務職員	1.00 3,600	0.70 2,520	1.10 3,960	1.10 4,180	157.1%
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	1.00 1,700	1.00 1,700	1.50 2,550	1.50 2,550	150.0%	
支出合計 A	108,619	97,875	73,833		78,118	75.4%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他( )	103	107	93	106	86.9%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	108,516	97,768	73,740		78,012	75.4%
一般財源比率 C÷A	99.9%	99.9%	99.9%		99.9%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	民間委託により、コスト削減及び事務簡略化を図りながら、良好に施設の管理運営を行うことができています。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	既に大部分の業務をアウトソーシングしており、直営業務の委託によるコスト削減等は期待できない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	廃棄物受入停止日数	日	0	0	0	0	0
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		廃棄物の受入停止を生じさせることなく、施設の安定稼働を達成したため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		設備保守点検に係る各種業務を着実に実施することで、環境基準等を遵守した上で、廃棄物の適正処理が継続的に行われているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	定期点検整備業務委託について、平成26年度から2か年、入札による業者選定を実施し、透明性・競争性の担保を図った。	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	職員の意識向上及びスキルアップを図りながら、効率性と質を両立した管理運営に努める。	
現在抱える課題と対策	課題	効率的な施設の管理運営の実施
	対策	職員の意識向上及びスキルアップを図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	職員一人ひとりが、モチベーションを高めながら、効率性と質を両立した管理運営に努める。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰	
(※)第2期実施計画の事業名	クリーンセンター修繕事業		財務会計上の事業名	クリーンセンター修繕事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	14	財務会計上の短縮番号	3690	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	クリーンセンターの安定稼働を確保し、廃棄物処理を円滑に進める。
事業の対象 (誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法 (どのように)	施設の予防保全等適切な維持管理を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 58 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		168,879		129,194		95,842		80,000		74.2%
主な内訳	修繕料	168,879		129,194		95,842		80,000		74.2%
										-
人件費(人・千円)		1.10	6,480	1.10	6,360	1.10	6,240	1.30	7,980	100.0%
内訳	正職員	0.60	4,680	0.60	4,560	0.60	4,440	0.80	6,080	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.50	1,800	0.50	1,800	0.50	1,800	0.50	1,900	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		175,359		135,554		102,082		87,980		75.3%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	175,359		135,554		102,082		87,980		75.3%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	包括管理契約により導入することが可能。
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	運転管理とあわせて委託を行うことで事務を合理化することは可能。人件費の面でのコスト削減も期待できる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	廃棄物受入停止日数	日	0	0	0	0	0
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		廃棄物受入の停止を生じさせることなく、施設の安定稼働を達成したため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	平成28年度以降実施する基幹的設備改良工事の実施と相まって、経費効果と安定稼働の両立ができるよう、予防保全と計画的な修繕を実施することが必要。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	基幹的設備改良工事を踏まえ、不要不急の修繕は行わず、改良工事に入るまでの間の延命化に努めることとし、予算規模を縮小するもの。	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	基幹的設備改良工事を踏まえ、不要不急の修繕は行わず、改良工事に入るまでの間の延命化に努めることとし、予算規模を縮小するもの。	
現在抱える課題と対策	課 題	基幹的設備改良工事後の予防保全と計画的な修繕の実施
	対 策	経費効果と安定稼働の両立ができるよう、予防保全と計画的な修繕工事の実施に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成29年度から31年度までの基幹的設備改良工事の期間中は、現行炉の修繕に限るため、不要不急の修繕は行わず、改良工事に入るまでの間の延命化に努めることとする。基幹的設備改良工事の完了後は、経費効果と安定稼働の両立ができるよう、予防保全と計画的な修繕を実施することとする。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰	
(※)第2期実施計画の事業名	クリーンセンター基幹改良事業		財務会計上の事業名	クリーンセンター基幹改良事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	15	財務会計上の短縮番号	3731	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	クリーンセンターの安定稼動を確保し、廃棄物処理を円滑に進める。
事業の対象(誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法(どのように)	二酸化炭素排出抑制事業費交付金を活用し、基幹的設備改良工事を実施し、施設の長寿命化を図る。
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成 28 年度～平成 31 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区分		26年度(決算)		27年度(決算)		28年度(決算)		29年度(予算)		H28/H27
事業費(千円)				16,200		53,697		1,682,381		331.5%
主な内訳	委託料			16,200		432		13,536		2.7%
	工事請負費					53,265		1,668,845		-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.70	4,120	1.40	8,460	1.80	11,780	200.0%
内訳	正職員		0	0.40	3,040	0.90	6,660	1.30	9,880	225.0%
	再任用短時間勤務職員		0	0.30	1,080	0.50	1,800	0.50	1,900	166.7%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		0		20,320		62,157		1,694,161		305.9%
財源	国・府支出金			5,400		21,412		670,875		396.5%
	地方債					27,300		859,100		-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0		14,920		13,445		164,186		90.1%
一般財源比率 C÷A				73.4%		21.6%		9.7%		29.5%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	廃棄物中間処理施設の基幹改良工事については、高度な専門性、技術力が求められ、民間活力により実施するのが適当。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	地域計画の策定		完了				
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	長寿命化総合計画の策定			完了			
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	発注支援業務の実施			完了			
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	基幹的設備改良事業の実施				実施	実施	実施
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				基幹的設備改良事業の完了(平成31年度末)に向け、事業者の選定及び実施設計を行い、工事に着手。予定どおり進捗しているため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)		
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)		
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)				LCC(ライフサイクルコスト)の面での有利さや新施設整備時における予定地の確保及び住民合意の形成の困難さから、平成46年度までの延命化を図ることとしたところ。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	基幹的設備改良事業について、1戸の改修工事を完了させる。	
現在抱える課題と対策	課 題	基幹的設備改良事業の効果的な実施
	対 策	本工事に要する費用の適正化を図るとともに、着実な進捗に向けた管理を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成29年度以降、31年度に事業が完了できるよう着実な工事の進行管理に努める。また、二酸化炭素排出抑制事業費交付金の活用等にあたり、適切な事務執行に努める。	



事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	北脇 悦子
(※)第2期実施計画の事業名	環境監視対策事業	財務会計上の事業名	環境監視対策事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3043 1	財務会計上の短縮番号	3560
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目3地域環境の向上	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	公害発生の抑制と環境基準の達成
事業の対象 (誰を、何を)	工場、事業所
事業の手段・方法 (どのように)	水質、騒音等の測定を定期的実施するとともに、工場・事業所に対して立入り調査をし、規制基準の遵守の確認・指導を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	騒音規制法、振動規制法、及び池田市環境保全条例等

2 事業費等

区分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27	
事業費(千円)	2,933	2,680	2,802	4,320	104.6%	
主な内訳	調査委託料	2,584	2,423	2,441	3,700	100.7%
	自動車借上料	137	137	133	130	97.1%
	燃料費	73	62	43	104	69.4%
人件費(人・千円)	0.58 4,446	0.58 4,408	0.47 3,478	0.47 3,572	81.0%	
内訳	正職員	0.56 4,368	0.58 4,408	0.47 3,478	0.47 3,572	81.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0.02 78	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	7,379	7,088	6,280	7,892	88.6%	
財源	国・府支出金	731	676	515	600	76.2%
	地方債					-
	その他( )					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	6,648	6,412	5,765	7,292	89.9%	
一般財源比率 C÷A	90.1%	90.5%	91.8%	92.4%	101.5%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	水質、騒音等の測定を業者に委託し、定期的実施している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	法律及び条例に基づいた指導であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水質、騒音等の測定	回	50	50	50	50	50
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	工場・事業所への立入り調査	回	1	0	0	0	1
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市民からの公害苦情の解決	件	64	63	44	50	60
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水道法関係の測定	回	3	8	6	4	5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		根拠法令に基づき適正に対処したため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	環境監視のため、水質と騒音の測定は不可欠である。公害苦情に関しては、関係法令に基づき処理し、苦情者の了承を得られている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	これまでの取り組みが有効、効率的であると判断し、同内容で継続実施する。	
現在抱える課題とその対策	課題	昨年に引き続き、公害発生の抑制と環境基準の達成
	対策	公害や環境基準については、測定や立入り調査により環境監視に努める。苦情処理については、迅速に対応し解決に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	測定や立入り調査により環境監視に努めるとともに、公害苦情にも適切に対処していく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	北脇 悦子
(※)第2期実施計画の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業	財務会計上の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3043 2	財務会計上の短縮番号	3555
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目3地域環境の向上	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内の大気汚染の状況を把握する。
事業の対象 (誰を、何を)	阪神高速道路大気観測局(神田局)
事業の手段・方法 (どのように)	阪神高速道路大気観測局(神田局)において、大気汚染物質の常時観測を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		6,183		6,699		3,733		4,566		55.7%
主な内訳	管理委託料	5,616		5,508		3,456		3,772		62.7%
	電気使用料	318		302		212		228		70.2%
	土地借上料	156		156		0		0		0.0%
人件費(人・千円)		0.21	1,638	0.21	1,596	0.13	962	0.13	988	61.9%
内訳	正職員	0.21	1,638	0.21	1,596	0.13	962	0.13	988	61.9%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		7,821		8,295		4,695		5,554		56.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )	6,183		6,698		3,733		4,566		55.7%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,638		1,597		962		988		60.2%
一般財源比率 C÷A		20.9%		19.3%		20.5%		17.8%		106.4%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	大気観測局の維持管理や臨時点検を業者に委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値 (H30)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
指 標 値	☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	神田局大気観測 測定項目	項目	3	3	3	3	3
	☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	木部・新宅局大気観測 測定項目	項目	2	2	-	-	-
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	環境基準の達成状況	項目	2	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				定点観測によりPM2.5など、市内の大気汚染の状況を把握できているため。					
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			市民の関心の高いPM2.5を中心とした1時間ごとの測定値を市ホームページなどで即時(リアルタイム)公開できている。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		平成28年2月末に木部・新宅局を閉鎖。神田局のみの測定を継続。
平成29年度の取組(平成28年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		市内の大気汚染の状況を把握できている。
現在抱える課題と対策	課 題	施設・計測機器の維持管理
	対 策	効率的な維持管理に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由		引き続き、神田局の測定値により、PM2.5をはじめとする大気汚染の状況を市民へ提供していく。

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 環境政策課	担当課長名	北脇 悦子
(※)第2期実施計画の事業名	環境美化推進事業	財務会計上の事業名	環境美化推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3043 3	財務会計上の短縮番号	3565
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目3地域環境の向上	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	環境美化に対する市民意識の向上を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、市民団体
事業の手段・方法 (どのように)	ごみゼロデーや清掃デーなどの地域清掃の実施を広報誌などを通じて呼びかけ、多くの市民、市民団体の参加を促す。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 55 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市美しいまち推進条例

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		158		280		19		25		6.8%
主な内訳	消耗品費	134		9		0		0		0.0%
	通信運搬費	17		17		19		25		111.8%
	補助金	7		23		0		0		0.0%
人件費(人・千円)		0.22	1,106	0.30	1,218	0.22	1,058	0.32	1,252	73.3%
内訳	正職員	0.12	936	0.12	912	0.12	888	0.12	912	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.10	170	0.18	306	0.10	170	0.20	340	55.6%
支出合計 A		1,264		1,498		1,077		1,277		71.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )			278						0.0%
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	1,264		1,220		1,077		1,277		88.3%	
一般財源比率 C÷A		100.0%		81.4%		100.0%		100.0%		122.8%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業については、主に市民及び市民団体による自主的な活動への参加促進を目的としているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)	
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	清掃デー参加人数	人	5,075	4,178	5,092	5,000	6,000
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ごみ散乱防止ケージ補助金交付件数	件	1	3	-	-	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		清掃デーの参加人数については、天候や実施時期により増減はあるものの、一定の数の市民が参加して活動しているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	地域清掃については、市民、市民団体が積極的に参加されており、環境美化意識の向上に有効的、効果的である。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	ごみ散乱防止ケージへの補助事業を開始	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	環境美化に対する市民意識の向上を図るため、継続的に啓発等を実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	ごみ散乱防止ケージ補助金申請・交付件数が低調で推移。
	対 策	平成27年度をもって補助制度を廃止した。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	ごみゼロデーや清掃デーなどの地域清掃の実施を主体とした環境美化活動を、自治会などの各種団体との連携により継続して行う。	